

2.1)重症患者受入割合 (回復期リハビリテーション病棟)

- 「重症患者」とは日常生活機能評価が10点以上またはFIM55点以下の患者さんを指します。回復期リハビリテーション病棟における施設基準となっています。
- 重症患者受入割合は、入院時に上記の定義に該当する患者さんの割合を示したものです。施設基準では40%以上が要件となっています。
- 重症患者さんを受け入れるためには、安全なリハビリテーション医療が提供できるよう、多職種による密な連携が必要です。当院では定期的なカンファレンス・回診により安全なリハビリテーション医療の実践を図っています。

重症患者受入割合

